

科目名	看護と倫理 I (社会倫理・医療の倫理)				DP1 DP3	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 基礎看護 看護概論	時間数	15時間	担当教員	専任教員
科目 概要	社会に多くの人が存在する限り、価値観や立場の違いから起こる対立や意見の不一致は避けられない。看護職者は、医療技術の進歩と、価値の多様化、権利意識の高揚など、人々の意識の変化を受け入れながらも医療上の倫理的判断が求められるようになってきている。この科目を通して、自分がおかれた状況の中で、人として、あるいは看護職者として「何をすべきか」を考える手がかりになる内容とした。						
到達 目標	1. 人間を理解するために、生命の尊厳・人権について学び、看護に求められる倫理を考える。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1~7	倫理学の基本的な考え方	倫理とは				講義 演習	専任教員
	人としての倫理	社会と倫理、社会における人間関係の基本的ルールと人権尊重、人間関係の成立を支える要素					
	医療における倫理	職業における倫理、医療の進歩と医の倫理					
	現代医療と医の倫理	医療技術の進歩、倫理綱領、医の倫理原則の基本、生命倫理（バイオエシックス）					
	医の倫理原則の基本	医学実験に対する社会的批判、医の倫理原則					
	生命倫理 1	生命倫理の課題、脳死と臓器移植					
	生命倫理 2	ターミナルケアとリビングウィル					
8	試験（1時間）					試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 5 基礎看護 [1] 看護概論 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							